

令和4年全国農業大学校等意見発表要旨

農業大学校名 埼玉県農業大学校 学科名等 野菜学科 施設栽培専攻 学年 2年 氏名 池田 匡<sup>いけだ きょう</sup>

1 課 題 First step to Agriculture ～農家になりたい～

2 意見・提言

(1) 孤独な中での農業の出会い

中学生の頃、ゲーム機を持っておらず、また、川や山に一人で遊びに行っていた自分は周りと馴染めずにいた。そんな中、近くの観光農園の農業体験で農業に出会う。

(2) 3つの目標

① 独立就農

自分が納得のいく作物をお客さんに届けることは、法人農家や企業に就職してもできる。  
しかし、作物の魅力や農業の楽しさを伝えるためには独立が最適と思った。

② 人が集まる農家になる

ただお客さんが集まるだけでなく、農業の勉強、実際に農業をやりたい人が自然と集まるような農家になりたい。また、農業にはネガティブな意見がついてまわる。  
そんな意見をポジティブなものに変えるため、観光農園を開業したいと思う。

③ 独立就農希望者の支援

独立就農希望者を雇用し、栽培技術、経営の知識を身に付けてもらう。次に社内独立という形で農地を提供、販売先等見つかるまで社内で買い取り、資金的援助を考えている。

(3) 目標を立てた経緯

① 大学校という場は、あくまで基礎を身に着ける場所ということ。

② 農地を貸借するには厳しい現実。

③ 実際に農家を営む上での経営、販売先、金銭面での不安。

(4) 私の現況

私は今、1つ目の目標である独立就農をするため、埼玉県独自の就農支援制度である「明日の農業担い手育成塾」に通っている。就農予定地は熊谷市、栽培品目はキュウリを考えている。

(5) 今後の取り組み

農地の確保、栽培技術及び経営知識を会得するために指導農家のもとで学び、積極的に地域農業に参加していく。農地を早く確保するためにも地域農業のコミュニティに入り、交流及び信頼関係を深めたい。

(6) 目指す農家

自分が作った作物や農業体験を通して農業の魅力を広めていきたい。そのために、広報活動やその作物の新しい食べ方等を考え発信したいと考えている。また、いつの日にか農業従事者全員が胸を張って「私は農業をやっている」と言える職業にしたい。